



弥富市立栄南小学校
学校通信 No. 34
令和4年12月8日



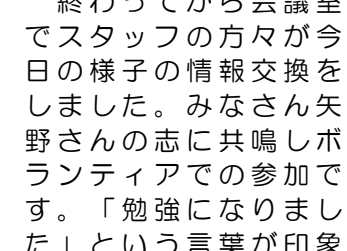
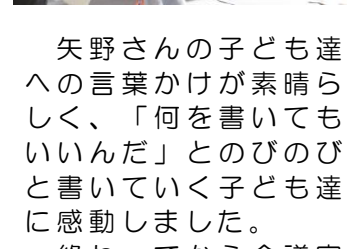
矢野きよ実さんの「書」の授業 6年生 12月6日（火）



健康推進表彰学校事業の一環として、タレントでラジオパーソナリティ・書家として活躍されている矢野きよ実さんを講師にお招きし「書」の出前授業を行いました。矢野さんは東日本大震災で被災した方々に書を通じて心の中にあるものを浄化し、被災者に寄り添う「無敵プロジェクト」をされています。そこで、子ども達が内面に抱えていることを「書」で表現することで、心の中のモヤモヤしたことをすっきりとし、心の健康につながれば、と考えて計画しました。

出前授業の中で矢野さんは、「『書』と習字は違います。習字はお手本通りに練習することですが、『書』は心の中にある今の気持ちをそのまま書きます。だから、『こういうふうには書きなさい』とか『こうしたら？』と聞かずに書けるまで待ちます。」とおっしゃいました。その言葉通り、はじめは戸惑っていた子やきれいに書こうとしていた子が段々と、思いの「書」を書いていきました。

この出前授業で使用する筆（豊橋筆）・墨（鈴鹿墨）・紙（書道紙本画仙）は特別に良いものを準備してくださいました。また、子ども達が書きやすいようにスタッフの方が一人ずつ、子ども一人に付きましました。それらの素晴らしい道具とゆったりとした環境で心に浮かんだ様々なことを表現していきました。



矢野さんの子ども達への言葉かけが素晴らしく、「何を書いてもいいんだ」とのびのびと書いていく子ども達に感動しました。

終わってから会議室でスタッフの方々が今日の様子の情報交換をしました。みなさん矢野さんの志に共鳴しボランティアでの参加です。「勉強になりました」という言葉が印象的でした。